



とうきちろう
冬吉郎 (MKX-111)
 宇治交配

濃緑色、豊産で裂球の遅い中生品種

特性

- ① 播種後110～120日で収穫期となる年内～冬穫りとして最適の中生種です。
- ② 萎黄病耐病性を持ち、軟腐病、菌核病、黒腐病にも強い品種です。
- ③ 球は甲高扁円球で、しまり良く、球表面のブルームが少なくスジが目立たないので、冷涼地盛夏穫りとしても、新鮮味のある球が収穫できます。
- ④ 肥大性・在圃性に優れた品種で、球重は1.5kg～最大2.0kgとなり、耐裂球性にも優れますので収穫期の幅が広く、栽培しやすい品種です。
- ⑤ 生育は強健で耐寒性が強く、球にアントシアンが出にくい特性を持ちます。年内～1月穫りとして能力を発揮します。
- ⑥ 中間地では、7月上旬～8月上旬まき11月～1月穫り、暖地では、8月上中旬まき12月～2月穫りなどに適します。

美味しい!



多収!

耐寒性抜群

他社品種 A 他社品種 B 他社品種 C 冬吉郎



他社品種とのアントシアン発生比較

栽培のポイント!

- ① 多肥栽培は、外葉が大きくなり過ぎ、収穫遅れの原因となりますので注意します。大玉収穫を狙う場合は、追肥主体として、株間を少し広めにとります。
- ② 老化苗は収穫期が遅れ、倒伏の原因となりますので、適期苗を定植します。

下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

